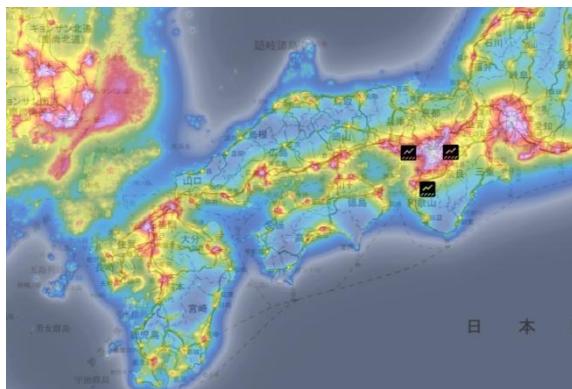


2026年 天文バケツリスト

桑田 直宏

1. 日本一暗い夜空のところでコーワハイランダー双眼鏡を使って天体観望する



2. 千畳敷カールにコーワハイランダー双眼鏡を持ち込んで天体観望をする

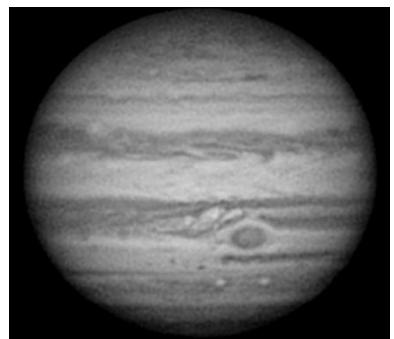
千畳敷カール 標高2600m 乗鞍畠平 標高2700m・
高峰高原 標高2000m 美ヶ原高原 標高2000m

3. 最高のシーイングの日に40センチで月や惑星を見る

1月15日 0時50分 シーイング 8/10

ミード40cm 288倍・404倍

同じ日時に撮影された画像です(他人) →
木星はほぼ天頂にあり、どんどんシーイングが良くなりました
ずっと観ていると、右の画像程度の詳細な模様が確認できました
大赤斑の中の色の違いもわかりました。こんなのが見てしまうと
大口径病に罹ってしまうのが理解できます

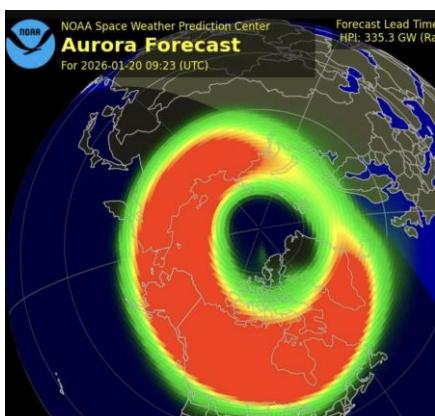


4. 姫路(上郡町)でオーロラを撮影する

2026年も太陽活動の極大期続く。姫路でも見た可能性は

2023年5月11日(右下の記事参考)

この原稿を福原さんに送る日の前日に1月19日に太陽大フレアが
発生しました。20日夜に見えるかもしれません。



5. 3月3日に皆既日食(観望と撮影)

香美町で撮影されたオーロラとみられる現象=11日
夜、兵庫県香美町観光商工課提供 (長時間露光)
■